

## 令和7年度都立荻窪高校における教科指導の重点

| 教科名  | 重点課題                                                     | 取組                                                                                                              | 発展的取組                                                                                           |
|------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語   | わかる・味わう・深まる授業の構築                                         | 各回の授業で、わかりやすい授業をできるような研修会や授業の相互参観を実施。<br>「古典」ではその時代特有の心情や情景を想像でき、味わうことを重視する。                                    | ・外部のコンテストへの応募<br>・オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発                                                 |
| 地理歴史 | 生徒の「わかる」を多面的に支援する                                        | オリジナルのワークシートを教材として準備する。<br>生徒アンケートで生徒意見を集約して授業に反映させる。                                                           | 理解を支援するためパワーポイントで資料を提示するなどICTの活用に積極的に取り組む。<br>映像資料や専門書などを含め、幅広く有効な史資料を活用する。                     |
| 公民   | 生徒の「わかる」を多面的に支援する                                        | マイノート・演習ノートを教材として使用する<br>PPTで教材を作成し、配信し、復習できるようにする                                                              | 理解を支援するためパワーポイントで資料を提示するなどICTの活用に積極的に取り組む。<br>映像資料や専門書などを含め、幅広く有効な史資料を活用する。自分で課題を作成し発表できるようにする。 |
| 数学   | 基礎的、基本的な知識、技能を確実に身に付ける。                                  | 中学校数学の内容との関連などを考慮し、基本的な計算力を重視したボリュームで扱う。安心して取り組み授業の雰囲気作りをする。                                                    | 数学的な思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高めるようにする。実生活と関連付けたり、学習した内容を発展させ問題を扱う。                                       |
| 理科   | 理解しやすい授業の構築                                              | 各回の授業で、わかりやすい授業をできるような研修会や授業の相互参観を実施。<br>「物理」「化学」「生物」の授業で、取り組みやすい探究的学習の実施。                                      | ・各回の授業で、わかりやすい授業をできるように、東京都の研修に参加。<br>「物理」「化学」「生物」の授業で、高大連携を実施。                                 |
| 保健体育 | 成長著しい時期に応じた基礎的、基本的な体力の向上と、必要な知識の知識理解、各種目における技能を確実に身に付ける。 | 4年間を通じてさまざまな活動に取り組むことを考慮し、基礎体力を高め、生涯にわたっての健康について自ら考え、実践する力を身につけられるような取り組みを行っていく。                                | 自らの健康課題に関しての課題解決にとどまらず、集団や社会の健康についても考えながら、実践を工夫したり、協調性を高めたりすることができるような取り組みを行っていく。               |
| 芸術   | 芸術作品のよさを味わい表現する指導の充実                                     | ・各自が課題に取り組み、創意工夫して表現する。<br>・一人一台端末を活用した鑑賞等を通して、作者の心情や背景を理解する。                                                   | ・作品に関する知識、技法、文化的背景等を理解し鑑賞を行う。<br>・各自の興味関心に基づいた発表等を行う。                                           |
| 家庭   | 楽しく取り組んでいるうちに、深く広い学びに入っていく授業                             | ・授業では、実験実習やKJ法、疑似体験、ロールプレイングなどを多く取り入れ、実践的な体験学習の機会を増やす<br>・実物教材やICT機器を活用した視覚教材を授業の導入で取り入れ、学習内容をより身近に感じやすくなるようにする | ・日常生活で起こる問題点を生徒自身が見付け、その改善や解決方法を考え、実践して振り返る学習                                                   |
| 外国語  | 英語でのコミュニケーションを軸とした「わかる授業」の構築                             | 中学校の基礎から無理なく学べる教材の選定。<br>身近な話題を取り上げた発表活動の実施。                                                                    | 学期に1回、1人一台端末を使用したプレゼンテーション活動を実施。                                                                |

## 令和7年度都立荻窪高校における教科指導の重点

| 教科名       | 重点課題                                                                                               | 取組                                                                                                                 | 発展的取組                                                                                                |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 情報        | 「わかる」「できた」を多く体験させ、情報化社会に対応できる人材を育成する。                                                              | タイピング速度精度の向上、オフィスソフトウェアの活用法、コンピュータの仕組みの理解、他者の権利の尊重など、生徒にとって身近なことを授業で取り上げ、理解が不足している生徒は長期休業等を活用し、「わかる」「できる」を多く体験させる。 | 情報化社会に対応する力の醸成、理解の早い生徒や学習意欲が高い生徒には各種検定を勧めるなど、生徒の自信の更に高め、実績の積み重ねを促していく。                               |
| 商業        | 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを旨とする。 | ビジネスの諸問題の解決方法について学習した知識を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付ける。                                                                 | ビジネスに対する望ましい心構えや実践的な態度を身に付けるとともに、自己実現に向けて意欲を持つようになる。                                                 |
| 総合的な探究の時間 | 自分を知る                                                                                              | 「人間と社会」テキストを使用しながら、話し合い等で内容をふかめ、ワークシートへのまとめや発表活動をする                                                                | 校外学習・震災訓練・清掃作業など体験をもとに、自分自身や他者への理解を深める                                                               |
|           | 他者との協働                                                                                             | リクルート社の「探究活動プログラム」を活用しながら、生徒同士の協働を通して、課題設定、情報の収集、調査・分析、表現活動のプロセスを身に付ける                                             | 探究学習に取り掛かる学年として、主に進路や社会課題への調査、分析、まとめ作業をグループワーク等を通して他者との協働の意義を考える                                     |
|           | 進路の決定                                                                                              | リクルート社の「探究活動プログラム」を活用しながら、生徒同士の協働を通して、課題設定、情報の収集、調査・分析、表現活動のプロセスを完成させるとともに、進路活動に活かし、希望進路を決定する                      | 探究学習の仕上げの学年として、主に進路や社会課題についての講演を聞き、調査、分析、まとめ作業をグループワーク等で行う。作業を通して職業生活や社会とのつながりについて考えを深めるとともに、適切に表現する |
|           | 進路の実現                                                                                              | リクルート社の「探究活動プログラム」を活用しながら、生徒同士の協働を通して、課題設定、情報の収集、調査・分析、表現活動のプロセスを次年度に継承するとともに、そのスキルを進路活動に活かし、希望進路を実現する             | 探究学習の仕上げの学年として、主に進路や社会課題についての講演を聞き、調査、分析、まとめ作業をグループワーク等で行う。作業を通して職業生活や社会とのつながりについて考えを深めるとともに、適切に表現する |
| アニメーション   | 各課題への取り組みとグループ制作                                                                                   | ①課題の提出期限を遵守させる（Teams等で週に1度通知）<br>②演習時間の確保と放課後等における作業環境の提供                                                          | ①Teamsを活用した課題制作の質疑応答、作品へのアドバイスと技術指導                                                                  |
| 演劇入門      | 演劇の基礎を利用して、「自己表現能力」を楽しく自然に養う。                                                                      | 発音・発声・効果的な表現を育みながら、心はもちろん「声・顔・姿」が魅力的な人間に成長させる。                                                                     | 内向的な人には大きな表現をすることの楽しさを、外向的な人には他人から信じてもらえる話し方を習得する。                                                   |
| 日本文化      | 理解しやすい「和の心」の構築                                                                                     | ・各回の授業で、わかりやすい授業をできるように研修会や授業の相互参観を実施。                                                                             | ・流派に即した、茶道への理解、日本文化への理解を深める。                                                                         |